



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月21日

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8707 URL <https://www.iwaicosmo-hd.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 沖津 嘉昭  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 笹川 貴生 TEL 06-6229-2800  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,711	23.5	5,630	23.1	1,685	73.3	1,882	56.3	1,328	59.6
2023年3月期第1四半期	4,624	△8.6	4,572	△8.7	972	△12.1	1,204	△8.9	832	11.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,519百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 29百万円 (△93.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	56.54	—
2023年3月期第1四半期	35.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	202,318	58,666	29.0
2023年3月期	183,509	57,557	31.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 58,666百万円 2023年3月期 57,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	60.00	80.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(注) 当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	25,012,800株	2023年3月期	25,012,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,523,908株	2023年3月期	1,523,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	23,488,901株	2023年3月期1Q	23,489,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
3. 補足情報 .....	9
(1) 受入手数料 .....	9
(2) 自己資本規制比率 .....	10
(3) 連結損益計算書の四半期推移 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

また、海外経済においては、企業業績は回復傾向にあるものの、欧米各国の金融引き締め長期化への懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

こうした経済環境のもと、国内株式市場は、米国著名投資家が日本株への追加投資を表明したことに加え、日本銀行が金融緩和策の維持を決定したことが好感され、上昇基調で推移し、4月末の日経平均株価(終値)は2022年8月以来8ヶ月ぶりに高値を更新しました。さらに、インバウンド需要の回復や好調な企業業績などを背景に、海外投資家による日本株買いが相場を押し上げ、6月中旬の日経平均株価(終値)は約33年ぶりに33,000円台を回復するなど高値圏で推移しました。なお、6月末の日経平均株価(終値)は、前期末を18.4%上回る33,189円04銭で取引を終えました。

一方、米国株式市場は、企業の堅調な決算発表が好感され、期初より上昇基調で始まり、5月に入り、米国政府債務の上限引き上げを巡る交渉が難航し株価が弱含む局面もありましたが、6月に米国連邦議会で債務上限引き上げ法案が可決され、債務不履行が回避されたことから株価は上昇に転じました。その後、FRB(米国連邦準備制度理事会)が年内にあと2回の利上げを示唆したものの、景気的大幅な減速は避けられる「ソフトランディング」の可能性が高まったことを背景に、投資家のリスクオン姿勢が強まったことでダウ工業株30種平均は上昇し、6月末の終値は、前期末を3.4%上回る34,407ドル60セントで取引を終了しました。

当社グループの中核事業を担う証券営業部門は、生前贈与や新NISA制度などをテーマとしたWebセミナーの開催に加え、SNSやYouTubeを活用した情報配信など、引き続き、デジタルを駆使した金融サービスの提供に注力しました。

このような取り組みに加え、一定期間お取引がない顧客へのフォローアップを目的に、顧客とのアポイントを取得するための専門チームを設け、顧客との接点を強化することで、顧客満足度の向上及び口座の再稼働化に注力しました。また、投資信託の営業活動においては、成長・配当・割安に注目し持続的成長が期待できる優良企業に投資する「インベスコ・世界厳選株式オープン」や、“人生100年時代”など高齢化社会における資産形成を後押しするために、中長期に安定した収益が期待できる債券型ファンド「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド」の販売に継続的に取り組みました。加えて、東京証券取引所が上場企業に対し資本コストや株価を意識した経営を要請していることから、成長戦略や積極的な株主還元策の期待を背景に、日本の好配当株式へ投資を行う「日本好配当リバランスオープン」の販売にも注力するなど、投資信託残高の増加に努めました。

このように、顧客サービスの向上と収益拡大に向けた施策に注力したことに加え、国内外の株価上昇など良好な市場環境も後押しして、当社グループの営業収益は57億11百万円(対前年同期比23.5%増加)、純営業収益は56億30百万円(同23.1%増加)となりました。また、販売費・一般管理費は、賞与などの変動費の増加を主因として39億45百万円(同9.6%増加)となり、経常利益は18億82百万円(同56.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億28百万円(同59.6%増加)となりました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

(受入手数料)

受入手数料は29億51百万円（対前年同期比11.1%増加）となりました。内訳は以下のとおりであります。

①委託手数料

委託手数料は、国内外の株式を中心に21億28百万円（対前年同期比15.4%増加）となりました。

②引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は、株券の手数料が5百万円（対前年同期比19.9%減少）、債券の手数料は2百万円（同23.5%減少）となり、同手数料全体では8百万円（同21.0%減少）となりました。

③募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に2億11百万円（対前年同期比12.9%増加）となりました。

④その他の受入手数料

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に6億2百万円（対前年同期比1.9%減少）となりました。

(トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は20億38百万円の利益（対前年同期比107.3%増加）となりました。一方、債券等トレーディング損益は80百万円の利益（同84.0%減少）となり、その他のトレーディング損益32百万円の損失（前年同期は16百万円の損失）を含めたトレーディング損益の合計は20億85百万円の利益（対前年同期比42.1%増加）となりました。

(金融収支)

金融収益は、信用取引収益を中心に6億74百万円（対前年同期比34.8%増加）となりました。一方、金融費用は81百万円（同56.0%増加）となり、差し引き金融収支は5億93百万円（同32.4%増加）となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、業績に連動する賞与等の変動費の増加を主因として39億45百万円（対前年同期比9.6%増加）となりました。

(営業外損益)

営業外損益は、受取配当金を中心に1億97百万円の利益（対前年同期比14.9%減少）となりました。

(特別損益)

特別損益は、金融商品取引責任準備金戻入の計上により19百万円の利益となりました（前年同期は0百万円の利益）。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,023億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて188億8百万円増加しました。主な要因としては、信用取引資産が63億54百万円減少したものの、現金・預金が11億52百万円、顧客分別金信託などの預託金が232億13百万円、それぞれ増加したことが挙げられます。

一方、負債合計は1,436億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて176億98百万円増加しました。主な要因としては、信用取引負債が29億55百万円減少したものの、預り金が146億55百万円、受入保証金が66億91百万円、それぞれ増加したことが挙げられます。

純資産合計は586億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億9百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績・配当予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	8,330	9,483
預託金	84,761	107,975
顧客分別金信託	80,500	105,500
その他の預託金	4,261	2,475
トレーディング商品	1,935	1,351
商品有価証券等	1,935	1,349
デリバティブ取引	—	1
約定見返勘定	535	346
信用取引資産	63,167	56,812
信用取引貸付金	61,716	54,387
信用取引借証券担保金	1,450	2,424
有価証券担保貸付金	183	484
借入有価証券担保金	183	484
立替金	18	51
短期差入保証金	9,214	8,950
未収収益	1,475	1,309
その他の流動資産	768	1,049
貸倒引当金	△6	△5
流動資産計	170,384	187,808
固定資産		
有形固定資産	1,466	1,396
建物	232	226
器具備品	669	607
土地	541	541
その他	22	20
無形固定資産	444	401
ソフトウェア	444	401
その他	0	0
投資その他の資産	11,213	12,711
投資有価証券	9,839	11,552
長期差入保証金	702	702
繰延税金資産	309	139
その他	503	453
貸倒引当金	△141	△136
固定資産計	13,125	14,509
資産合計	183,509	202,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	272	106
商品有価証券等	249	99
デリバティブ取引	23	7
信用取引負債	21,851	18,896
信用取引借入金	15,478	9,545
信用取引貸証券受入金	6,373	9,351
有価証券担保借入金	4,048	4,157
有価証券貸借取引受入金	4,048	4,157
預り金	44,515	59,171
顧客からの預り金	41,528	50,986
その他の預り金	2,987	8,184
受入保証金	41,847	48,539
短期借入金	3,500	3,500
未払法人税等	1,089	472
賞与引当金	834	570
その他の流動負債	1,281	1,033
流動負債計	119,241	136,448
固定負債		
社債	4,000	4,000
繰延税金負債	1,903	2,417
その他の固定負債	368	365
固定負債計	6,272	6,783
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	439	419
特別法上の準備金計	439	419
負債合計	125,952	143,651
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	39,566	39,485
自己株式	△1,702	△1,702
株主資本合計	52,758	52,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,799	5,989
その他の包括利益累計額合計	4,799	5,989
純資産合計	57,557	58,666
負債・純資産合計	183,509	202,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益		
受入手数料	2,656	2,951
委託手数料	1,844	2,128
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 等の手数料	10	8
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	187	211
その他の受入手数料	613	602
トレーディング損益	1,467	2,085
株券等トレーディング損益	983	2,038
債券等トレーディング損益	501	80
その他のトレーディング損益	△16	△32
金融収益	500	674
営業収益計	4,624	5,711
金融費用	51	81
純営業収益	4,572	5,630
販売費・一般管理費	3,600	3,945
取引関係費	440	488
人件費	1,736	2,031
不動産関係費	381	370
事務費	705	707
減価償却費	164	163
租税公課	100	108
その他	70	74
営業利益	972	1,685
営業外収益	233	198
営業外費用	1	1
経常利益	1,204	1,882
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	0	19
特別利益計	0	19
税金等調整前四半期純利益	1,204	1,902
法人税、住民税及び事業税	101	415
法人税等調整額	270	158
法人税等合計	372	574
四半期純利益	832	1,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	832	1,328

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	832	1,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△802	1,190
その他の包括利益合計	△802	1,190
四半期包括利益	29	2,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	2,519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
委託手数料	1,844	2,128
(株券)	(1,625)	(2,097)
(債券)	(0)	(一)
(受益証券)	(217)	(30)
(その他)	(1)	(0)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	10	8
(株券)	(7)	(5)
(債券)	(3)	(2)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	187	211
その他の受入手数料	613	602
合計	2,656	2,951

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
株券	1,653	2,125
債券	4	3
受益証券	963	801
その他	35	20
合計	2,656	2,951

(2) 自己資本規制比率 岩井コスモ証券株式会社(単体)

(単位：百万円)

		前第1四半期末 (2022年6月30日)	当第1四半期末 (2023年6月30日)	前事業年度末 (2023年3月31日)
基本的項目	(A)	46,924	48,920	47,705
補完的項目	(B)	864	897	889
	その他有価証券評価差額金(評価益)	420	472	443
	金融商品取引責任準備金	438	419	439
	一般貸倒引当金	5	5	6
控除資産	(C)	6,642	5,719	7,855
固定化されていない自己資本(A)+(B)-(C)	(D)	41,146	44,098	40,738
リスク相当額	(E)	5,296	5,206	5,499
	市場リスク相当額	412	388	562
	取引先リスク相当額	1,264	1,314	1,438
	基礎的リスク相当額	3,619	3,504	3,498
自己資本規制比率(%)	(D)÷(E)×100	776.8	846.9	740.8

(3) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2022. 4. 1 2022. 6. 30)	前第2四半期 (2022. 7. 1 2022. 9. 30)	前第3四半期 (2022.10. 1 2022.12. 31)	前第4四半期 (2023. 1. 1 2023. 3. 31)	当第1四半期 (2023. 4. 1 2023. 6. 30)
営業収益					
受入手数料	2,656	3,007	3,385	3,073	2,951
委託手数料	1,844	2,121	2,269	2,169	2,128
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	10	14	93	21	8
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	187	257	431	307	211
その他の受入手数料	613	614	590	574	602
トレーディング損益	1,467	1,494	1,090	1,391	2,085
株券等トレーディング損益	983	1,259	1,020	1,364	2,038
債券等トレーディング損益	501	261	53	42	80
その他のトレーディング損益	△16	△27	15	△14	△32
金融収益	500	542	520	560	674
営業収益計	4,624	5,044	4,996	5,025	5,711
金融費用	51	75	61	74	81
純営業収益	4,572	4,969	4,935	4,951	5,630
販売費・一般管理費	3,600	3,656	3,720	3,681	3,945
取引関係費	440	434	440	436	488
人件費	1,736	1,850	1,794	1,851	2,031
不動産関係費	381	366	355	365	370
事務費	705	692	814	705	707
減価償却費	164	165	168	166	163
租税公課	100	89	84	92	108
その他	70	58	61	61	74
営業利益	972	1,313	1,214	1,270	1,685
営業外収益	233	31	124	66	198
営業外費用	1	2	2	55	1
経常利益	1,204	1,342	1,337	1,281	1,882
特別利益	0	—	△0	—	19
特別損失	—	—	0	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,204	1,342	1,337	1,280	1,902
法人税、住民税及び事業税	101	612	272	614	415
法人税等調整額	270	△197	135	△208	158
四半期純利益	832	928	928	874	1,328
親会社株主に帰属する四半期純利益	832	928	928	874	1,328